

平成 28 年度 第 2 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨 (案)

日 時 平成 28 年 8 月 12 日 (金) 14:00～16:55
 場 所 琉球大学医学部 管理棟 3 階 大会議室
 構 成 員 37 名 (欠席者 5 名)

1 号委員 (琉大病院長)	藤田 次郎
2 号委員 (県立中部病院長)	本竹 秀光
(那覇市立病院長)	屋良 朝雄
3 号委員 (県立宮古病院長)	上原 哲夫
(県立八重山病院長)	依光 たみ枝
4 号委員 (北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
5 号委員 (沖縄県医師会長)	安里 哲好
6 号委員 (沖縄県歯科医師会長)	比嘉 良喬 (代理) 小禄克子
7 号委員 (沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌
8 号委員 (沖縄県看護協会長)	仲座 明美 (欠席)
9 号委員 (沖縄県政策参与)	村田 譲二
10 号委員 (沖縄県保健医療部長)	砂川 靖 (代理) 糸数 公
11 号委員 (琉大がんセンター長)	増田 昌人
12 号委員 (琉大医療福祉支援センター長)	藤田 次郎
13 号委員 (琉大薬剤部長)	中村 克徳 (欠席)
14 号委員 (琉大看護部長)	下地 孝子 (欠席)
15 号委員 (琉大事務部長)	熊谷 圭司
16 号委員 (県立中部病院副病院長)	比嘉 真利子 (代理) 吉村邦枝
(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇
(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文
(那覇市立病院外科部長)	宮里 浩
17 号委員 (県立宮古病院外科部長)	松村 敏信 (欠席)
(県立宮古病院副院長)	本村 悠子 (代理) 小禄範子
(県立八重山病院副院長)	玉城 和光
(県立八重山病院看護部長)	渡口 直子 (代理) 中山幸子
18 号委員 (北部地区医師会病院看護部長)	柴山 順子 (代理) 照屋 敦
19 号委員 (沖縄県がん患者会連合会)	田仲 康榮 (代理) 安里香代子
(がんの子供を守る会沖縄支部代表)	片倉 政人
(公益社団法人日本オストミー協会沖縄支部長)	大城 松健
(ゆうかぎの会(離島におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代
20 号委員 (国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
(沖縄タイムス社会部副部長待遇)	儀間 多美子
(特定非営利活動法人グループ・ネクス理事長)	天野 慎介
21 号委員 (琉大病院歯科口腔外科長)	新崎 章
(琉大病院病理部長)	加留部謙之輔
(琉大病院第一外科長)	西巻 正 (代理) 狩俣 弘幸
(琉大病院小児科講師長)	百名 伸之 (欠席)
部会説明者 緩和ケア部会長	笹良 剛史
がん登録部会長	仲本 奈々
普及啓発部会長	長井 裕
研修部会副会長	宮国 孝男

陪 席 者 沖縄県保健医療部健康長寿課癌対策班主査 徳田 麻紀子

議事要旨・議事録・委員一覧

1. 平成28年度第2回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(平成28年7月11日開催)

増田委員(11号委員)から、資料1の第2回幹事会議事要旨(平成28年7月11日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

2. 平成28年度第1回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(平成28年5月13日開催)

増田委員(11号委員)から、資料2の第1回協議会議事要旨(平成28年5月13日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

3. 平成28年度第1回沖縄県がん診療連携協議会議事録(平成28年5月13日開催)

増田委員(11号委員)から、資料3の第1回協議会議事録(平成28年5月13日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧

増田委員(11号委員)から、資料4に基づき本協議会委員、幹事会及び部会委員の変更について報告があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(20号委員)から資料5に基づき、各地のがん対策状況とがん政策サミットでの取り組み状況について報告があった。また、沖縄県の大腸がんについて、追加的データの報告があり、現状把握の方法としてNCD(National Clinical Database)データの活用について示唆があった。また、次回11月にがん種別・がん対策をテーマにがん死亡率の減少と均てん化の実現についてサミットを開催する旨の案内があった。

委員から以下のような質問等があった。

・安里委員(5号委員)

沖縄県の大腸がんが特徴的だったということか、他はどうなのか。

⇒埴岡委員：がん全体としてみれば沖縄ではがんの死亡率が全体として悪くない方向だったのが、少しずつ悪くなっている。日本で最もよい胃がんと、日本で最も悪い部類の大腸がんが混在しており、大腸がんだけがワーストレベルになっていることが分かったということ。色々と早期の検証が必要ではないかということ。

・本竹委員(2号委員)

検診率について、実際の数字はもしかして少ないのではないか。

⇒埴岡委員：検診の定義とか検診率データの精度の問題は言われており、再検討の話も出ているが、市町村単位で精細なデータを手がかりに考えていく必要もあると思われる。

2. 天野委員報告

天野委員(20号委員)から資料6に基づき、国内未承認の医薬品を迅速に保険外併用療養として使用する患者の申出を起点とする新たな保険外併用療養の仕組みとして、患者申出療養制度が創設されたことの説明があった。また、拡大治験制度について、併せて報告があった。

審議事項

1. 「沖縄県がん対策推進計画(第2次)分析報告書」への協議会としての対応について

当該報告書の情報を共有し議論を深めるため、それぞれの部会での検討について以下のとおり報告があり、協議会としての対応を議論した。

・笹良緩和ケア部会長から資料7-①に基づき、緩和ケア部会での注目点と課題、取り組み状況について報告があった。

・増田委員(11号委員・相談支援部会長)から資料7-②に基づき、相談支援部会での注目点と課題、課題解決のための実行状況について報告があった。

- ・仲本がん登録部会長から資料7-③に基づき、登録部会での注目点と課題、結果を受けて部会が取り組んでいる事項等について報告があった。
 - ・長井普及啓発部会長から資料7-④に基づき、普及啓発部会での注目点と課題、取り組み状況について報告があった。
 - ・宮里委員（16号委員・地域ネットワーク部会長）から地域医療の体制推進等について、解析が進んでいないため、議論を進めていく旨の報告があった。
- 次いで各委員から以下の意見等があった。

- ・安里香代子（沖縄県がん患者会連合会・田仲委員代理）
緩和ケアは当初の頃比べると普及していると思われるが、患者アンケートから離島ではあまり浸透していないという感じである。
- ・笹良緩和ケア部会長
緩和ケアの概念については医療者の認識にも壁があり、その現状打開のため、研修会の実施、医師や看護師の現場での教育が重要であるとの認識がある。
- ・埴岡委員（20号委員）
がん医療に携わる専門的な医療従事者の適正と確保の分野があまり触れられなかった点について部会がカバーしないのであれば、本協議会で議論も必要と思われる。
- ・藤田議長
がん専門医の育成は重要であり、課題を踏まえて部会を中心に進んでいくということである。

2. 「沖縄県：医療圏別／がん種別 死亡数削減プロジェクト」（仮）について

増田委員（11号委員）から資料8に基づき、平成27年度沖縄県委託事業「がん対策推進計画中間評価検討業務委託事業」による『沖縄県がん対策推進計画（第2次）分析報告書』のデータを踏まえた大腸がんのプロジェクト立ち上げについて説明があり、審議の結果、具体的な方法について議長一任し、協議会で進めることが了承された。

各委員から以下の意見等があった。

- ・宮里委員（16号委員）
外科学会としても協議会から協力を求めれば作業が進むと思われる。また、生活習慣病は大腸がんのハイリスクとなることの啓蒙、便潜血検査実施の機運が高まればよい。
- ・埴岡委員（20号委員）
昨年の全症例を検討できれば素晴らしい取り組みになる。検診率は上げることだけが目的ではなく、地域と年代を絞った更なる取り組みも考えられる。

3. 平成28年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員（11号委員）から、資料9に基づき次回の本会議日程について説明があった。

4. その他

なし

報告事項

1. 沖縄県がん診療連携協議会要項の改訂について

増田委員（11号委員）から資料10に基づき、前回第1回の協議会で承認された要項の改訂について報告があった。

2. 沖縄県がん対策推進条例の改定について（県より）

沖縄県保健医療部糸数保健衛生統括監（10号委員砂川委員の代理出席）から資料11に基づき、沖縄県がん対策推進条例の一部改正について報告があった。

3. 沖縄県がん対策推進協議会について（県より）

沖縄県保健医療部糸数保健衛生統括監（10号委員砂川委員の代理出席）から資料12に基づき、沖縄県がん対策推進協議会規則の一部改正について報告があった。

4. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員（11号委員）から資料13に基づき、委託事業の沖縄県地域統括相談支援センターのピアサポート活動状況について報告があった。詳細について、ホームページでも公開している旨併せて説明があった。

5. 第57回がん対策推進協議会について

増田委員（11号委員）から、厚生労働省関連及び文部省関連のがんに関する会議報告について、本協議会での報告が義務づけられている旨の説明があり、資料14に基づき厚生労働省でのがん対策推進協議会について報告があった。

6. 第9回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会について

7. 第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会について

8. 第19回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会、

平成28年度第2回薬事・職員衛生審議会医薬品棟安全対策調査会（合同開催）について

増田委員（11号委員）から、資料15から資料17に基づき、予防接種・ワクチン分科会と関連部会について纏めて報告があった。詳細については各自確認するよう発言があった。

9. 第1回がん等における緩和ケアの更なる推進に関する検討会について

10. 第2回がん等における緩和ケアの更なる推進に関する検討会について

11. 第17回がん検診のあり方に関する検討会について

12. 第18回がん検診のあり方に関する検討会について

13. 第1回がん検診受診率等に関するワーキンググループについて

14. 第5回がん診療提供体制のあり方に関する検討会について

15. 第6回がん診療提供体制のあり方に関する検討会について

16. 第7回がん診療提供体制のあり方に関する検討会について

増田委員（11号委員）から、資料18から資料25に基づき、厚生労働省のがん対策推進協議会の専門部会各種検討会について、纏めて報告があった。また、天野委員（20号委員）から、当該検討会での論点となっている、がん対策における均てん化と集約化のバランス、拠点病院が提出する現況報告書に関する現状と課題、及び都道府県がん診療連携拠点病院を中心とした各都道府県におけるPDCAサイクルの確保についての議論等、補足説明があった。

17. 緩和ケア推進検討会報告書について

18. 「患者申出療養」について

19. 「がん対策基本法」改正について

増田委員（11号委員）から資料26に基づき、緩和ケアに関する検討会報告について説明があった。資料27の患者申出療養の概要については、厚生労働省のホームページを確認いただきたい旨説明があり、がん対策基本法改正案については資料28に基づき、臨時国会での議論となる予定であるとの説明があり、併せて、天野委員（20号委員）からがん患者の就労支援に関して社会的な支援が盛り込まれていること、緩和ケアについて新たな追記があることの補足説明があった。

20. 「がん教育」について

増田委員（11号委員）から資料29に基づき、文部科学省発出の学校におけるがん教育のあり方についての説明があった。また、普及啓発部会と教育庁保健体育課との共同の検討について補足説明があった。

21. 第9回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会について

22. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 平成28年度第1回がん登録部会について

23. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第7回情報提供・相談支援部会について

24. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第3回緩和ケア部会について

増田委員（11号委員）から資料30から資料33に基づき、国立がん研究センターが主体となって実施する協議会及び各種専門部会について纏めて報告があった。

25. その他

沖縄県がん患者会連合会の安里香代子氏（田中康榮 19 号委員代理出席）から、別添配付資料に基づき、患者会主催で多良間村と宮古島でのフォーラム・移動サロンを実施し、アンケート集計と考察について報告があった。併せて、医療従事者、教育関係者、行政との継続した連携の重要性について発言があった。

部会報告事項

1. 緩和ケア部会

笹良部会長から資料34に基づき、緩和ケア部会の活動・取り組み状況について報告があった。

2. がん登録部会

仲本部会長から資料35に基づき、がん登録部会の活動・取り組み状況について報告があった。

3. 研修部会

宮国研修部会副会長から資料36に基づき、研修部会の活動・取り組み状況について報告があった。

4. 相談支援部会

増田相談支援部会長から資料37に基づき、相談支援部会の活動・取り組み状況について報告があった。

なお、天野委員（20号委員）から、がんサポートハンドブックや地域の療養情報を確実に届ける方策の検討について質問があり、増田相談支援部会長から、全ての医療機関窓口から患者さんに配付するか、自身で取っていただく事を基本とし、補完的に各市町村役場や公的な図書館、保健所等に依頼して配布することの説明があった。また、相談支援センターの周知徹底について、相談支援部会の課題として引き続き広報活動を行い、各診療科の先生方に協力している状況である旨、補足説明があった。

5. 地域ネットワーク部会

宮里地域ネットワーク部会長から資料38に基づき、地域ネットワーク部会の活動・取り組み状況について報告があった。

6. 普及啓発部会

長井普及啓発部会長から資料39に基づき、普及啓発部会の活動・取り組み状況について報告があった。

その他

真栄里委員（19号委員）から、大腸がん対策プロジェクト立ち上げに関してのお礼と、厚生労働省ワクチン部会に関連する意見が述べられた。